

北海道アウトドアフォーラム2023 選択ワークショップ時間割り

2023/8/25

	①10/21 (09:30-10:45)	②10/21 (11:15-12:30)	③10/21 (14:00-15:15)	④10/21 (15:45-17:00)	⑤10/22 (09:00-10:15)	
a	タイトル	個人とグループの成長を促す アドベンチャープログラム体験	アウトドアと教育にまつわる井戸端会議	"There are a million ways to set up a tarp, here are mine."	水辺で楽しむ為のリスクマネジメント	レゴブロックを使って北海道のアウトドアの 未来を語りましょう！
	実施者	鈴木 宏紀 (自然考房 Nature Designing、 CORE北海道体験教育協会)	中田 和彦 (恵庭市立恵み野小学校 校長)	Mick Hultz / ミック ホルツ (NPO Daisetsuzan Nature School Chief Innovation and Development Officer イノベーション・開発責任者)	新野 和也 (NPO法人どんころ野外学校 アウトドアガイド・レスキューインストラクター)	戸来 友美 (千歳市立桜木小学校 教諭) 山田 亮 (北海道教育大学岩見沢校 准教授)
	ハッシュタグ	#教育;#心理的安全性;#チームビルディング	#教育	#教育;#outdoorlife;#playeveryday	#安全;#観光;#教育	#教育;#合意形成
	定員	15名	15名	-	-	30名
b	タイトル	アウトドアと地域文化、歴史の継承	自然や生きものの魅力、大切さを多くの方へ！ Nature Clips	「僕って、誰なんだろう」 -学齢期のLGBTQについて-	「ATWS北海道」から得たアウトドアの 事業展開5つのポイント	え？「アウトドア×観光×LGBTQ」？ -北海道の可能性を考える-
	実施者	石川 佳洋 (ピリカ自然塾 代表)	小楠 高弘 (株式会社地域環境計画 企画営業本部 企画開発部)	<特別WS> 満島 てる子 (7丁目のパウダールーム 店長)	荒井 一洋 (北海道アドベンチャートラベル協議会 会長)	<特別WS> 満島 てる子 (7丁目のパウダールーム 店長)
	ハッシュタグ	#観光;#教育	#観光;#教育;#自然に親しむ	#安全;#教育;#LGBTQ	#安全;#観光;#教育	#安全;#観光;#教育;#LGBTQ
	定員	20名	-	-	-	-
c	タイトル	日本ライフジャケットインストラクター ワークショップ	雪崩から身を守り仲間を助ける方法	ヒグマの生態を知る・伝える トランクキットの使い方	実践・ヒグマとあったらどうするか！ 知床からのケーススタディ	サバイバル教育の事例から紐解く、 子どもたちとの向き合い方
	実施者	岸 浩明 (一般社団法人北海道ウォーターセーフティ協会 理事長)	双樹 智道 (秀岳荘北大店 ショップスタッフ、 スキーガイド)	浦幌ヒグマ調査会 村上 晴花 (北こぶしリゾート) 鈴木 亜室 (襟裳町地域おこし協力隊)	チーム知床 村上 晴花 園田 佳菜子 西原 重雄 三浦 隆浩 藍屏芳 /Lan Ping-Fang	片山 誠 (7 2時間サバイバル教育協会、 ジャパンキッズ)
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#教育;#ライフジャケット	#安全;#バックカントリースキー;#スノーシュー	#ヒグマ;#インタープリター	#安全;#観光;#ヒグマ	#教育
	定員	20名	-	20名	30名	-
d	タイトル	野外で楽しむ為のリスクマネジメント	安全で楽しいサイクリングツアーのづくり方	アウトドア・プログラムが参加者に及ぼす効果を調べる方法を学ぶ	北海道のフィッシングガイドビジネス	
	実施者	新野 和也 (NPO法人どんころ野外学校 アウトドアガイド・レスキューインストラクター)	西原 重雄 (知床サイクリングサポート 代表)	山田 亮 (北海道教育大学岩見沢校 准教授)	奥本 昌夫 (FishCamp-Hokkaido)	
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#教育	#安全;#観光	#観光;#教育;#プログラムの効果	#観光	
	定員	-	30名	ノートパソコン (Excelがインストールされている) を持参できる方かつExcelの基本操作ができる方	10名	
e	タイトル	新陽高校と取り組むアウトドアの未来		現代的課題に対応した環境教育プログラムの開発	野外活動の突然死を無くすためのプロジェクト (プッシュプロジェクト)	
	実施者	高橋 励起、植田 祐矢、川崎 淳一 (札幌新陽高等学校 教諭)		井上 貴央、権 台五/クオン テオ (合同会社エゾリンク)	齋藤 弘樹、岸 浩明 (一般社団法人北海道ウォーターセーフティ協会)	
	ハッシュタグ	#教育		#教育;#生態学	#安全;#観光;#教育;#心肺蘇生法	
	定員	36名		15名	20名	
f	タイトル	木のクライミングホールドからバリコレへ		珈琲教室	野外体験を組み込んだ企業研修型ワークショップを 企画してみよう！	
	実施者	長谷川 勘太郎 (VOCK 代表)		満保 惇 (ネイバル足寄 所長)	中島 吾郎 (NPO法人富良野自然塾、 CORE (北海道体験教育協会))	
	ハッシュタグ	#観光;#教育		#教育;#様々なシチュエーションでのコーヒーの楽しみ方	#観光;#教育;#ワークショップ	
	定員	10名		28名	20名	

北海道アウトドアフォーラム2023選択ワークショップ概要

①10月21日 【 9:30~10:45 】

① a	タイトル	個人とグループの成長を促すアドベンチャープログラム体験
	実施者	鈴木 宏紀（自然考房 Nature Designing／CORE北海道体験教育協会）
	内容	冒険活動で得られる効果を身近なフィールドで体験できるアドベンチャープログラムは、学校のクラス形成やスポーツチーム・企業のチームビルディング研修等に活用されています。まずは体験して効果を感じてもらい、北海道でアドベンチャー教育の輪を広める仲間になってもらえたらうれしいです。暖かく動きやすい服装と、すべり止め付きの手袋をご用意ください。
	ハッシュタグ	#教育;#心理的安全性;#チームビルディング
	定員	15名

① b	タイトル	アウトドアと地域文化、歴史の継承
	実施者	石川 佳洋（ピリカ自然塾 代表）
	内容	アウトドアは地域での活動や、観光客を呼ぶには欠かせない分野だと思います。アウトドアガイドは、地域貢献や自然保護、郷土や歴史の継承に関して重要な立場と考えます。私たちアウトドアガイドとは何か？そして、アウトドアを通じ地域に何を返すか、何を残していくか？そういったことについて、皆さんと一緒に考える時間にしたいと思います。
	ハッシュタグ	#観光;#教育
定員	20名	

① c	タイトル	日本ライフジャケットインストラクターワークショップ
	実施者	岸 浩明（一般社団法人北海道ウォーターセーフティ協会 理事長）
	内容	水辺で必要なアウトドア関係者が知っておくべきライフジャケットの正しい知識と着用方法を学べるワークショップです。ワークショップでは簡単な検定で日本ライフジャケットインストラクターレベル1を取得できます。（内容：ライフジャケットの必要性、性能、特徴、種類、正しい着用方法、ライフジャケット規格、基準） 自分のライフジャケットを持参できる方は持参してください。レンタルライフジャケットも用意されていますが、自分が普段着用しているライフジャケットが国際規格のものか、規格外かをSMEが評価してくれます。
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#教育;#ライフジャケット
定員	20名	

① d	タイトル	野外で楽しむ為のリスクマネジメント
	実施者	新野 和也（NPO法人どころ野外学校 アウトドアガイド・レスキューインストラクター）
	内容	どうすれば安全に野外での活動を楽しむ事が出来るか？そのポイントを深掘りしながら一緒に考えていきましょう。
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#教育
定員	-	

北海道アウトドアフォーラム2023選択ワークショップ概要

① ② e	タイトル	新陽高校と取り組むアウトドアの未来 ※2コマ連続実施
	実施者	高橋 励起、植田 祐矢、川崎 淳一（札幌新陽高等学校 教諭）
	内容	新陽高校では2018年から野外教育に取り組んでいます。今年度から「アウトドア探究」という授業もはじまりました。まずは、みなさんに新陽高校について、新陽の学び、野外教育の取り組みなどを紹介します。アウトドア業界の未来の担い手は高校生です。高校生のポテンシャルは無限です。本ワークショップでは、アウトドアで高校生を育てる視点から、みなさんそれぞれの専門分野の知見を活かし、高校生向けのアウトドアプログラムの開発ををみなさんと共にしていきたいと考えています。高校がプラットフォームとなり、新たなビジネスが生まれるかもしれません。みなさんのご参加お待ちしております！
	ハッシュタグ	#教育
	定員	36名

① ② f	タイトル	木のクライミングホールドからパリコレへ ※2コマ連続実施
	実施者	長谷川 勘太郎（VOCK 代表）
	内容	2007木のクライミングホールドメーカーとして始まり、木のアクセサリーの制作を手掛けて、2021年にはYohji Yamamotoとコレボし、パリコレで披露されました。【土に還るモノづくり】というテーマで木に始まったメーカーで、それが時代を経てSDGsなどの流れを受け、パリコレクションまで行ってしまったという一つの物語の話をしたいと思います。ふまえて木のアクセサリーワークショップも実施しているので、みんなで木のアクセサリー作り体験もしたいと考えています。
	ハッシュタグ	#観光;#教育
	定員	10名
教材費	1,000円/人 ※当日現金徴収	

②10月21日 【 11：15～12：30 】

② a	タイトル	アウトドアと教育にまつわる井戸端会議
	実施者	中田 和彦（恵庭市立恵み野小学校 校長）
	内容	焚き火を囲んで、アウトドアと教育をお茶のお供にゆるーく語らいます。すべっても構いませんので、話題を2～3ご用意のうえ、参加ください。 （持ち物：防寒着、マイカップ、話の小ネタ少々）
	ハッシュタグ	#教育
	定員	15名

② b	タイトル	自然や生きものの魅力、大切さを多くの方へ！Nature Clips
	実施者	小楠 高弘（株式会社地域環境計画 企画営業本部 企画開発部）
	内容	40年以上生きものの調査に携わってきた株式会社地域環境計画。生きもののプロフェッショナル集団として、蓄積してきた知見を活かし、多くの方に自然に親しんでいただきたいという想いをNature Clips(ネイチャークリップス)として具現化。様々なサービスやアイテムのご紹介、ご提供を始めています。ワークショップでは、実際に様々なアイテムを使い、ひと味違った自然観察を行うことで、様々な自然との接し方を皆さんと模索します。（雨が降っていなければ、実際に屋外に出て色々なアイテムを使った観察会の実施を考えています）
	ハッシュタグ	#観光;#教育;#自然に親しむ
	定員	-

北海道アウトドアフォーラム2023選択ワークショップ概要

② c	タイトル	雪崩から身を守り仲間を助ける方法
	実施者	双樹 智道 (秀岳荘北大店 ショップスタッフ、スキーガイド)
	内容	北海道の冬を白く染めるパウダースノー。楽しいアクティビティや美しい景色を提供してくれますが、時には雪崩という驚異となり牙を向きます。雪崩事故に遭わないためにどんな事に気を付けるべきか。もしも雪崩に巻き込まれて仲間が埋まってしまったとしたら、どうやって助けるのか。レスキューの方法とそのため道具を紹介します。
	ハッシュタグ	#安全;#バックカントリースキー;#スノーシュー
	定員	-

② d	タイトル	安全で楽しいサイクリングツアーの作り方
	実施者	西原 重雄 (知床サイクリングサポート 代表)
	内容	安全で楽しいサイクリングツアーの造成は、意外と簡単ではありません。どのようにすればうまくいくのか、皆さまで課題とノウハウを共有しながら一緒に考えましょう！
	ハッシュタグ	#安全;#観光
	定員	30名

③10月21日 【 14:00~15:15 】

③ a	タイトル	"There are a million ways to set up a tarp, here are mine."
	実施者	Mick Hultz / ミック ホルツ (NPO Daisetsuzan Nature School Chief Innovation and Development Officer イノベーション・開発責任者)
	内容	How to create tarp shelters for BBQ, Campsite, or bushcraft. Learn and then try. Beginner, intermediate, and advanced tarp builders welcome!! Everyone can learn from each other too. 野外で使う英語を学びながら、実用的なスキルを楽しく取得しましょう
	ハッシュタグ	#教育;#outdoorlife;#playeveryday
	定員	-

③ b	タイトル	<特別WS>「僕って、誰なんだろう」 -学齢期のLGBTQについて-
	実施者	満島 てる子 (7丁目のパウダールーム 店長)
	内容	成長期の子どもたち、あるいは、思春期の若者を相手にするという経験。今回のWSの参加者の方々の中には、それをお仕事にしている方もいらっしゃると思います。この年齢層には、様々な場面でこまめなメンタルケアを行うことが必要となるでしょう。とりわけ学齢期のLGBTQ当事者は、複雑な状況に追いやられながらも、それを口に出すことができない場合があります。わたし自身の経験を出発点としながら、様々な統計データもご紹介しつつ、子どもたち、性的マイノリティ、その未来について、最終的に皆さんと語り合えればと思います。
	ハッシュタグ	#安全;#教育;#LGBTQ
	定員	-

北海道アウトドアフォーラム2023選択ワークショップ概要

③ c	タイトル	ヒグマの生態を知る・伝える トランクキットの使い方
	実施者	浦幌ヒグマ調査会 村上 晴花（北こぶしリゾート）、鈴木 亜室（襟裳町地域おこし協力隊）
	内容	北海道の自然を代表する動物・ヒグマは、どのように森で暮らし、生きているかご存知でしょうか？骨格標本や毛皮などの「トランクキット」を用いて、ヒグマの生態について学び、また、それを誰かに伝えるためのワークショップです。
	ハッシュタグ	#ヒグマ;#インタープリター
	定員	20名

③ ④ d	タイトル	アウトドア・プログラムが参加者に及ぼす効果を調べる方法を学ぶ ※2コマ連続実施
	実施者	山田 亮（北海道教育大学岩見沢校 准教授）
	内容	私たちが提供するアウトドア・プログラムには、活動を体験する参加者に対して、心身の健康への効果、教育的な効果など、さまざまな側面から影響を与える力があります。本ワークショップでは、野外教育や環境教育で培ってきた活動効果の研究の方法を紹介し、どなたでも実践場面で使用することができる、効果測定の方法を学びます。そして、みなさんとともに、アウトドア・プログラムには、どのような効果があるのか、探っていきたいと思います。基本的には屋内でのワークショップですが、その中で施設周辺の森林フィールドで30分程度活動をする予定です。
	ハッシュタグ	#観光;#教育;#プログラムの効果
定員	ノートパソコン（Excelがインストールされている）を持参できる方かつExcelの基本操作ができる方	

③ ④ e	タイトル	現代的課題に対応した環境教育プログラムの開発 ※2コマ連続実施
	実施者	井上 貴央、権 台五/クォン テオ（合同会社エゾリンク）
	内容	合同会社エゾリンクは、北海道大学の生態学の研究者が研究成果をもとに作成した環境教育プログラムを提供する事業者です。ワークショップでは、みなさんに自然界における炭素の循環と地球温暖化を学ぶアクティビティを体験していただき、その理論的背景や意図を解説します。そして、その体験をもとに我々からいくつかの環境に関するテーマを提示し、参加者のみなさんとともに新しいアクティビティを創作し、現代の社会問題に対応した環境教育の発展を目指していききたいと思います。
	ハッシュタグ	#教育;生態学
定員	15名	

③ ④ f	タイトル	珈琲教室 ※2コマ連続実施
	実施者	満保 惇（ネイパル足寄 所長）
	内容	コーヒーについての基礎知識、生産国による味の違い、ハンドドリップの仕方、フードペアリング講座、様々なシチュエーションでのコーヒーの楽しみ方について、元ドトールコーヒーショップの副店長がみなさんにお伝えします。
	ハッシュタグ	#教育;#様々なシチュエーションでのコーヒーの楽しみ方
	定員	28名
教材費	500円/人 ※当日現金徴収	

北海道アウトドアフォーラム2023選択ワークショップ概要

④10月21日 【 15:45~17:00 】

④ a	タイトル	水辺で楽しむ為のリスクマネジメント
	実施者	新野 和也 (NPO法人どころ野外学校 アウトドアガイド・レスキューインストラクター)
	内容	水辺で安全に楽しい活動をする為のポイントを学びます。
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#教育
	定員	-

④ b	タイトル	「ATWS北海道」から得たアウトドアの事業展開5つのポイント
	実施者	荒井 一洋 (北海道アドベンチャートラベル協議会 会長)
	内容	アウトドア観光において事業者はどのように価値を高め、それをマネタイズし、どのように人を育て安定営ができるかを考える機会です。今回は、魅力的なコンテンツ提供、顧客体験の向上、マーケティング戦略に焦点をあてます。また、安全対策や人材育成等、これまでのアドベンチャー・トラベル事業を通して学んだポイントを整理します。最後に会社経営の運営コストを下げつつ販売を伸ばすための方策について意見交換をします。
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#教育
	定員	-

④ c	タイトル	実践・ヒグマとあったらどうするか！知床からのケーススタディ
	実施者	チーム知床 村上 晴花 (北こぶしリゾート)、園田 佳菜子 (知床財団)、西原 重雄 (知床サイクリングサポート)、三浦 隆浩 (Mother Nature's Son)、藍屏芳 / Lan Ping-Fang (LANTOKO)
	内容	クマ鈴やクマスプレーなど、アウトドアの中でも「クマ対策」は必要不可欠になってきています。今回のワークショップでは、ヒグマの高密度生息地である知床での遭遇事例からケーススタディを行い、実際にアウトドアを行うメンバーが実体験をお伝えします。
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#ヒグマ
	定員	30名
	教材費	500円/人 程度 ※練習用の無害な熊スプレーを教材用に購入します。費用をWS参加者で負担するため、参加人数によって教材費が変動します。教材費は当日現金徴収。

⑤10月22日 【 09:00~10:15 】

⑤ a	タイトル	レゴブロックを使って北海道のアウトドアの未来を語りましょう！
	実施者	戸来 友美 (千歳市立桜木小学校 教諭)、山田 亮 (北海道教育大学岩見沢校 准教授)
	内容	本ワークショップでは、北海道のアウトドアの未来のあるべき姿をテーマに、参加のみなさん同士で語り合う場をつくりたいと思います。北海道のアウトドアに携わるひとりとして、活動実践の中で考えていること、大切にしていること、あるべきアウトドアの未来像など、日頃から思っていることを、レゴブロックを使って表現し、それをみなさんと共有して、合意形成をすすめていきます。会議ファシリテーション、学校教育のアクティブラーニング、体験学習法を導入した野外教育活動などで用いられる手法をもとに展開していきます。
	ハッシュタグ	#教育;#合意形成
	定員	30名

北海道アウトドアフォーラム2023選択ワークショップ概要

⑤ b	タイトル	<特別WS>え？「アウトドア×観光×LGBTQ」？ -北海道の可能性を考える-
	実施者	満島 てる子（7丁目のパウダールーム 店長）
	内容	今、北海道の「観光」を元気にするために、様々な取り組みが行われています。自然という豊かな観光資源を生かした取り組みは、当フォーラムの参加者の方にはきっと馴染み深いものでしょう。ところで「LGBTQツーリズム」という取り組みにも、この北の地で実は現在注目が集まっていること、知っていましたか？北海道を元気にするために何ができるかを、グループワークも交えつつ、一緒に考えてみましょう！
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#教育;#LGBTQ
	定員	-

⑤ c	タイトル	サバイバル教育の事例から紐解く、子どもたちとの向き合い方
	実施者	片山 誠（72時間サバイバル教育協会、ジャパンキッズ）
	内容	主体的に学ぶってどういうこと？信じて認めて導く子ども向けのコーチングについて学び合いをしませんか。WSが終わる頃には、優しい気持ちで子どもたちをニコニコ見守れる指導者になってるかも??
	ハッシュタグ	#教育
	定員	-

⑤ d	タイトル	北海道のフィッシングガイドビジネス
	実施者	奥本 昌夫（FishCamp-Hokkaido）
	内容	スライドショーから、北海道におけるフィッシングガイドビジネスの実情と、顧客の趣向性の紹介。ワークショップ参加者から、各々のビジネス、立場から、フィードバックを得て新たな可能性を探りたい。
	ハッシュタグ	#観光
	定員	10名

⑤ e	タイトル	野外活動の突然死を無くすためのプロジェクト（プッシュプロジェクト）
	実施者	齋藤 弘樹、岸 浩明（一般社団法人北海道ウォーターセーフティ協会）
	内容	野外活動で突然死を無くすためのワークショップです。心肺蘇生の中でも最も重要な『胸骨圧迫とAEDの使い方』、『誰かが倒れた時に、声をかける勇気』をできるだけ多くの人に伝えるために、短時間で効率よく勉強できるよう工夫をしています。あっぱくんというトレーニングキットを使用することで、胸骨圧迫とAEDの使い方を、短時間で効率よく学習することができます。受講者には心肺蘇生法の修了証が発行されます。そのためワークショップ実施者にお名前等の個人情報が共有されます。
	ハッシュタグ	#安全;#観光;#教育;#心肺蘇生法
	定員	20名

⑤ f	タイトル	野外体験を組み込んだ企業研修型ワークショップを企画してみよう！
	実施者	中島 吾郎（NPO法人富良野自然塾、CORE（北海道体験教育協会））
	内容	野外体験を組み込んだ企業研修型ワークショップの事例紹介と、活動地域における企業研修カリキュラムの作成ワーク。
	ハッシュタグ	#観光;#教育;#ワークショップ
	定員	20名